

2021～2022年 活動報告とご案内 Annual report



ごあいさつ

小出スキー場は開設してから今年で69年を迎え、JR上越線沿線としては2番目に歴史のある公設スキー場です。人々に愛される中、平成28年に公営での営業が打ち切りとなり、翌29年から民営にて営業を行っております。多くの皆さまのご支援のおかげで、10期目という節目を迎えることができました。

また、隣接する温泉施設「見晴らしの湯こまみ」、小出スキー場のサマーシーズンの姿である、都市公園「小出公園」の管理運営業務を受託し、スキー場を加えた3つをエリア一帯の施設として事業を行っております。このうち、小出スキー場については令和5年4月からの持続可能なスキー場に向けて、市当局と積極的な協議を続けております。

今後も「屋根のない体育館」の揺るがない方針のもと、教育施設として、健康づくり、環境保全の場として、年間を通じ活動を行ってまいります。その目標の一つとして、SDGs（持続可能な開発目標）の3つの目標を指針としながら、様々な事業を円滑に管理・運営できる体制づくりを強化してまいります。

今後も皆様からのご意見を頂戴しながら、様々な方々から愛着ある場所として活用していただけるよう、活動を続けてまいります。

これらの安定した活動のためには、経営基盤強化は不可欠となっており、みなさまからのお力添えが必要となっております。ぜひ趣旨や現状をご理解いただき、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人スノーパーク小出
理事長 上村 伯人
(医療法人社団 上村医院 院長)

SDGs（持続可能な開発目標）について



2015年9月国連サミットで採択され、2030年までに到達する目標を掲げられています。17項目の大きな目標と、169のターゲットで構成され、さらに具体的な数値目標のある232の指標が存在しております。

当法人として、3つの大きな目標を事業の指針と捉え、事業の実施を通じて社会課題の解決を目指してゆきます。

SDGsを指針とした事業（2021-2022）



- ・通年を通じた、健康づくりプログラムの企画と実施
- ・温泉を活用した、健康づくりプログラムの検討
- ・エリア全体を活用した、上記機会の推進



- ・教育施設としての企画や受け入れの実施
- ・四季を通じた体験学習・生涯学習、生涯スポーツの企画と実施
- ・様々な団体と連携した、上記機会の提供と活動の質の向上



- ・恒常的に発生するごみの低減と再利用化
- ・省エネルギー化の推進による、環境負荷の低減
- ・活動を通じての環境意識の啓発と学習意欲の向上

新潟県環境賞受賞いたしました

令和3年、スノーパーク小出にて実施を行っている、環境教育や環境保全活動、植生調査活動におきまして、様々な方と連携し、多世代の方とともに活動していることが評価され、新潟県環境賞 地域創り部門を受賞いたしました。令和3年での受賞者は当法人を含め5団体が受賞となりました。

令和3年10月31日、新潟県が主催する環境イベント「にいがた環境フェスティバル2021」の中で表彰式が執り行われ、上村理事長が登壇し、副知事より新潟県産杉にレーザー刻印のされた表彰状および、記念品となる木製の時計が授与されました。

みなさまからの温かいお力添えがこのような大きな成果につながりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



豊富な雪に恵まれたウィンターシーズン

今年度は、予定より5日遅れての営業開始となりましたが、豊富な積雪に恵まれ、以降は終了予定日まで休まず営業ができました。コロナ禍という状況の中で、従来からご利用いただいている学校団体に加え、新たな学校団体の受け入れも行いました。

より多くの受け入れを行うため、見晴らしの湯こまみとの連携による食事の提供や、レンタル等の受け渡しを実施し、1日あたりの学校団体の受け入れ数の増加につながりました。こまみはスキー場の玄関口としても認知度が浸透し、集客の相乗効果が生まれてまいりました。

この他にも、新潟県スキー場協議会と連携したスキーの日花火の打ち上げ。市内3スキー場共同での、市内向け子ども向けの3スキー場共通シーズン券の発行など新たな取り組みも行いました。

課題も山積しており、人員の慢性的な不足、各施設・駐車場等の収容力不足、老朽化する圧雪車や索道設備の一部保守終了などが挙げられていることに加え、昨今の電気料金的大幅値上げ、原油の高騰による価格上昇など、課題は山積しております。



コロナを吹きとばせ！スキー場での花火打ち上げ

新潟県スキー場協議会・小出雪まつり実行委員会から、コロナ禍でも元気にしてゆこうと、小出スキー場を会場として花火打ち上げが行われました。

いずれも、スキー場上空に大輪の花が咲き、スキー場内をはじめ、隣接する市街地からもご覧いただくことができました。



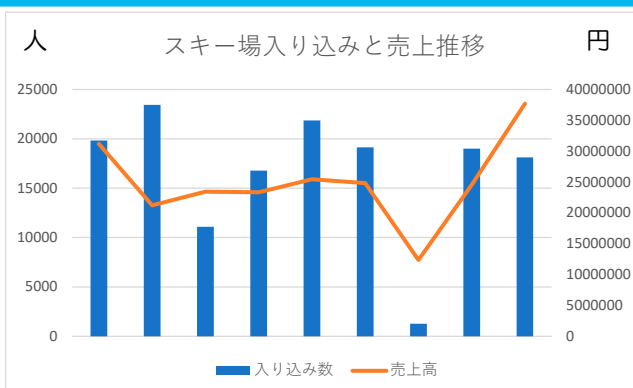
令和5年4月以降のスキー場の契約について

令和5年3月で契約満了となる、スキー場施設の賃貸借と契約について、「持続可能なスキー場」とするために、現在も協議を行っております。市当局・魚沼市議会とも「スキー場は必要」という認識は一致しており、今後どのような体制で行ってゆくことが望ましいか、須原スキー場、薬師スキー場を含めた3スキー場及び市当局、関係者にて構成する協議体が設立され、今後スピード感をもった協議が行われていきます。

スキー場事業収入推移

法人運営を開始してから9年目の2021-2022シーズンも多くの方からご利用いただきました。

コロナ禍ということもあり、団体についてはキャンセルがあったものの、県からのスキー場支援策や、魚沼市の団体誘客の制度活用の効果もあり、シーズンで18,115人の方からお越しいただきました。昨年度を上回る学校授業の受け入れの影響もあり、単年度として良い結果を残すことができました。



ご報告

見晴らしの湯こまみに関する事業

様々な取り組みにより、入館者が回復傾向に

コロナ禍3年目となる中、感染予防対策を行いながら営業を行ってまいりました。また、施設の老朽化によるトラブルの増加を受け、事前にトラブルに気がつけるよう日々の点検に力を入れ、トラブルによる営業休止はありませんでした。また、集客や満足度向上のために様々な企画も実施し、中でも毎月行っている変わり湯については、魚沼市特産のユリや地元酒蔵の酒粕を活用したことで多くの反響をいただくこともできました。また、アンブレラスカイといった見て楽しめるような企画も実施いたしました。

コロナ禍からの回復の兆しや上記の取り組みに加え、以前からモットーとしている、清潔感のある施設を維持してきたこともあり、入館者数は前期比較で114.7%となり、徐々に回復してまいりました。

今後、入館者の回復に対応できるよう営業時間についても協議を進めており、加えてオペレーションについても改善を図ってゆく必要があります。



満足度向上のための企画実施

今期も露天風呂を活用して様々な変わり湯を実施いたしました。従来に加え、市内の特産品を別の視点で楽しんでいただこうと、ユリや酒粕など、魚沼市特産を活用したお風呂へ多くの反響をいただきました。また、露天風呂への移動型シートを設置し、悪天候時も快適に過ごせるよう、満足度の向上を図りました。



スキーとの連携の取り組み

冬季間スキー場と連動し、温泉セット券の販売や、リフト券の販売、レンタルスキーの引き渡しを行ったほか、学校授業の受け入れも行いました。

温泉とスキーが両方楽しめる玄関口として、今期は約25%のお客様がこまみをベースとしてスキーを楽しんでいただくことができました。



安定稼働する施設を目指して

施設の老朽化が進む中、魚沼市より段階的な修繕が行われます。来期はボイラー・空調関係の工事が計画されております。

また、施設の入替えのほか、異常時の対応教育の実施や、お客様の万が一に備え、定期的な対応訓練を実施しております。



自然にやさしく、環境に配慮した公園管理を実施

前年度に引き続き、管理運営業務を受託し事業を行いました。前年度明確となった課題点を踏まえ、除草が必要な箇所の明確化と、芝生等の育成に力を入れ、公園としての必要な機能を活かせるように管理運営を行いました。

日々の点検業務や、利用者やボランティアの方との情報交換をもとにして寄せられた破損箇所についても、魚沼市担当課と密な連絡・調整を行いながら、徐々に修繕に結びつけております。

また、芝生の様子や景観、周辺の里山エリアを含め、景観がよくとても豊かな自然環境が現存するフィールドであることから、より安全に利用できる公園となるよう、除草剤を使用せず、適正な草刈りの実施や、樹木の選定の実施、過ごしやすい芝生づくりをはじめとした管理を行ってまいります。

利用者人数も徐々にではありますが、増加の傾向にあり、様々な世代の方が四季を通じて活用できる魅力ある都市公園としての価値を高めてまいります。



特定外来生物への対応

昨年度から取り組み始めた、特定外来生物、オオキンケイギクの駆除については、今年度は草刈りと、多くのボランティアの方からお力をお借りして、人の手による駆除に方法を変えて行っております。大きくなる前に駆除を行うため、回収重量としては減少いたしましたが、園内にほとんど見かけなくなり、大きな改善に繋がりました。



樹木再生への取り組み

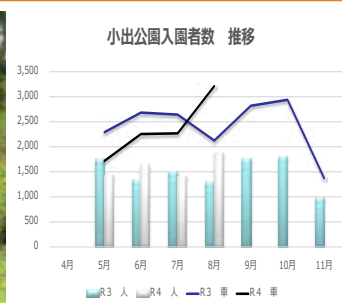
桜の名所となっている公園内の桜を健全な姿にするため、雪害等で折れてしまった枝等の除去を、樹勢を意識しながら剪定を行っております。また、生育が不順となっている木を含めた桜の樹勢調査を実施し、樹勢回復に向けた改善案を市役所担当課へ提出し、今後に向けた対応を検討しております。



安心・安全な公園を目指して

皆さんから安心・安全にご利用いただける公園として、条例に基づいた看板の設置のほか、園内の情報提供のための看板の設置を行いました。

また、園内入り口に入場カウンターを設け、来園者数の推移を計測しております。ルール化や情報の共有化によって、足を運びやすい公園に向かっており、来園者数も増加の傾向に向かっております。



年間を通じた健康づくり・環境教育活動を実施

年間を通じて、教育・健康づくり・環境保全をテーマに、地域の資源を活用した、幅広い世代への活動の企画と運営を行いました。

教育に関するものとして、小学生・保護者向けの活動を実施、キャンセル待ちが発生するほど反響のあった活動もありました。ウィンターシーズンでは、小学校のスキー授業や、ウィンタースクールの講師手配・対応を行いました。健康づくりに関するものとしてノルディック・ウォーク活動については小出地域と合わせ、4拠点で実施し、冬季間は健康スキー教室を予定通り開催することができました。ノルディック・ウォーク指導者も新たに3人の方が誕生し、市内に現在13名の公認指導者が各地で活動を行うようになりました。

併せて、駒見山周辺を整備する有志の方々との意見交換も行うことができ、今後も、エリアの魅力を活かし、社会課題の解決に向けた、積極的な企画を実施してまいります。



四季を通じた健康づくり活動の実施

ノルディック・ウォーク「歩んでみんな会」は、小出と守門地域、福山新田地域に加え、大湯地区でも活動を行い、ノルディック・ウォークの輪が広がってきました。

冬季は健康スキー教室「脱！冬ごもり」を実施、四季を通じて、毎週木曜日は健康づくりの日として、皆さんに張り合いをもって参加するまでに活動が広がってまいりました。



魚沼の自然を子どもたちへ。環境教育活動の実施

魚沼市から委託を受け、魚沼わくわくキッズを開催しました。多くの子どもたちが参加し、地域文化や自然環境について触れていただくことができました。ツリークライミングも緊張しながら初めて子どもたちがチャレンジする様子、それを見守る保護者のみなさんの温かい眼差しが印象的な活動となり、いずれもキャンセル待ちになった日程もあったりと活動に反響がありました。



自然を活用したワークショップと調査活動の実施

5年目の調査活動もワークショップと併せ実施をいたしました。従来の敷居の低いものから、植物をより深く知ってもらう活動まで幅広く展開し、子どもから大人まで、延べ80名の方から楽しく学んでいただきました。

清掃活動も例年通り5月に実施し、春のスキー場を39名の方からご参加いただきました。



ご報告

2021年（令和3年度）活動一覧

日付	イベント名称	内容
8月	こまみ野菜の販売	施設で育てた野菜の販売
8月～11月	公園巡回・草刈り・冬囲い等	
8月～毎月	変わり湯の実施（露天風呂）	特産品を使用したお風呂
9月2日～	歩んでみん会（第2クール）	ノルディック・ウォーク定期活動
9月16日	職場体験	小出中学校職場体験
10月3日	ツリークライミング体験会	子どもゆめ基金助成活動 参加者：29名
10月16日～	小出スキー場草刈り作業	草刈り作業
10月24日	ネイチャージョーグウォーク	子どもゆめ基金助成活動 参加者：22名
10月30日	ハロウィンイベント	ガラポン抽選会の開催
11月	焼き芋の販売	こまみにて調理し販売
11月6・7日	ブース出展	チケットの販売・パンフ配布
11月6日	歩んでみん会交流遠足	厚生労働省補助事業
11月17日	片付け作業実施	
11月19日	ビートルズナイト2021	ナイトライブの開催
11月21日	守門地区ノルディック・ウォーク会	厚生労働省補助事業
11月24日	イルミネーション設置	クリスマスイルミネーション設置
12月19日	安全祈願祭	安全祈願祭の実施
12月19日	全国フォーラム事例発表	モニタリングサイト1000全国フォーラム
1月13日～	「脱！冬こもり教室」実施	毎週木曜日（全8回）延べ参加者数：165名
2月12・13日	バレンタインイベント	特別変わり湯の実施
3月12・13日	ホワイトデーイベント	来館者にプレゼント実施
3月18日～	こいでのたからみっけ隊	地球環境基金助成事業 小出郷文化会館
4月	物販販売（桜）	桜餅などのお菓子を限定販売
4月1日～	公園開設準備	
4月16日～	福山新田ノルディック・ウォーク	R4厚生労働省事業 延べ参加者数：35名
5月	学校受け入れ	入浴での学校受け入れの実施
5月12日～	歩んでみん会（第1クール）	R4厚生労働省事業 参加者数：148名
5月15日～	オオキンケイギク大作戦	特定外来生物の除去作業 ボランティア活動
7月23・24日	浴室撮影会	魚沼特産の変わり湯撮影会
1月1日	元旦変わり湯	よもぎ湯の実施
1月8日	ゲレンデラリー	毎週土日開催
1月12日	花火打ち上げ	新潟県スキー場協議会主催
1月16日	小千谷スキーツアー	新潟県委託事業
2月6日	小千谷スノーボードツアー	新潟県委託事業
2月12日	小出スキーカーニバル	花火打ち上げのみ
2月19日	たいまつ滑走	こまみスポーツ少年団主催
2月26日	うおぬまわくわくキッズ	魚沼市教育委員会委託事業 参加：41名
3月6日	スキー場営業最終日	つきたてお餅のふるまい
5月4日	スキー場清掃活動	スキー場内の清掃作業
5月13日	公園開設 巡回・草刈り開始	
5月22日	ノルディック・ウォーク指導者研修会	R4厚生労働省事業 指導者参加：8名
5月28日	守門地区ノルディック・ウォーク体験会	R4厚生労働省事業 参加者：2名
6月9日	刈払機安全講習受講	
6月9日	大湯地区ノルディック・ウォーク体験会	R4厚生労働省事業 参加者数：27名
6月14日	アンプレラスカイ	エントランスに設置・展示
6月21日	露天風呂屋根設置	開閉式の屋根を設置
6月26日	ノルディック・ウォーク指導員養成講座	R4厚生労働省事業 養成者：3名
7月2日	小出スキー場草刈り作業	スキー場関係者団体連携作業
7月20日	魚沼市スキー場合同説明会	今後の方針について事業者説明
7月29日	スキー場連絡会	4スキー場間情報交換
7月31日	大湯地区ノルディック・ウォーク体験会	R4厚生労働省事業 参加者数：27名
7月31日	ツリークライミング体験会	自然体験活動 参加者：20名

小出スキー場

特定非営利活動

見晴らしの湯こまみ

小出公園

ご報告

2021年（令和3年度）貸借対照表

令和4年7月31日現在

[税込] [単位：円]

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		未 払 金	1,332,161
現 金	355,396	預 り 金	19,155
現 金	355,396	未払法人税等	70,000
預 金	1,214,260	未払消費税	1,922,800
預 金	1,214,260	流動負債 計	3,344,116
現金・預金 計1	5,569,656	【固定負債】	
（売上債権）		長期借入金	6,238,000
未 収 金	189,007	固定負債 計	6,238,000
売上債権 計	189,007	負債合計	9,582,116
（棚卸資産）		正 味 財 産 の 部	
商 品	163,405	【正味財産】	
棚卸資産 計	163,405	前期繰越正味財産額	△ 12,020,233
（その他流動資産）		当期正味財産増減額	6,828,905
前 払 金	32,654	正味財産 計	△ 5,191,328
仮 払 金	45,932	正味財産合計	△ 5,191,328
その他流動資産 計	78,586		
流動資産合計	2,000,654		
【固定資産】			
（有形固定資産）			
建 物	679,965		
機械及び装置	1,355,981		
器具 備品	335,972		
有形固定資産 計	2,371,918		
（無形固定資産）			
ソフトウェア	18,216		
無形固定資産 計	18,216		
固定資産合計	2,390,134		
資産合計	4,390,788	負債及び正味財産合計	4,390,788

法人概要

- 名 称** 特定非営利活動法人 スノーパーク小出
- 理 事 長** 上村 伯人（医療法人社団 上村医院 院長）
- 事 業 目 的** この法人は、地域のスキー文化発祥地の小出スキー場を利用し、スノースポーツの普及と振興を通じて、ふるさとである雪国の美しさと楽しさを子供たちに伝えるとともに、あらゆる年代が参加できる、多様な市民活動の場として、地域の活性化に寄与することを目的とする。（定款第3条より転載）
- 事 業 内 容** （特定非営利活動）
- ① 小出スキー場の管理・運営に関する事業
 - ② スキーカーニバルなどイベント運営に関する事業
 - ③ スノースポーツの普及と競技力向上に関する事業
 - ④ 健康増進に関する事業
 - ⑤ まちづくりの推進に関する事業
 - ⑥ 小出スキー場に関連する施設の管理運営事業
 - ⑦ 見晴らしの湯こまみに関する事業
 - ⑧ 小出公園に関する事業
 - ⑨ その他、目的達成に必要な事業
- （定款第4条より抜粋）
- 事 業 資 金** 事業売上及び会費と寄付金、行政・民間機関からの委託金・補助金・助成金、活動剰余金 他
- 設 立 日** 2013年（平成25年）3月20日
- 法人格取得日** 2013年（平成25年）7月18日
- 法 人 番 号** 7110005015298

 特定非営利活動法人
スノーパーク小出

<https://www.sp-koide.org>

〒946-0043 新潟県魚沼市青島1609

TEL：025-792-5320 FAX：025-795-6622

info@sp-koide.org



スキー場事業報告の花火の写真は、
左：スキーの日花火 瀬沼功一さん
右：スキーカーニバル花火 和田正之さん
よりご提供いただきました。

